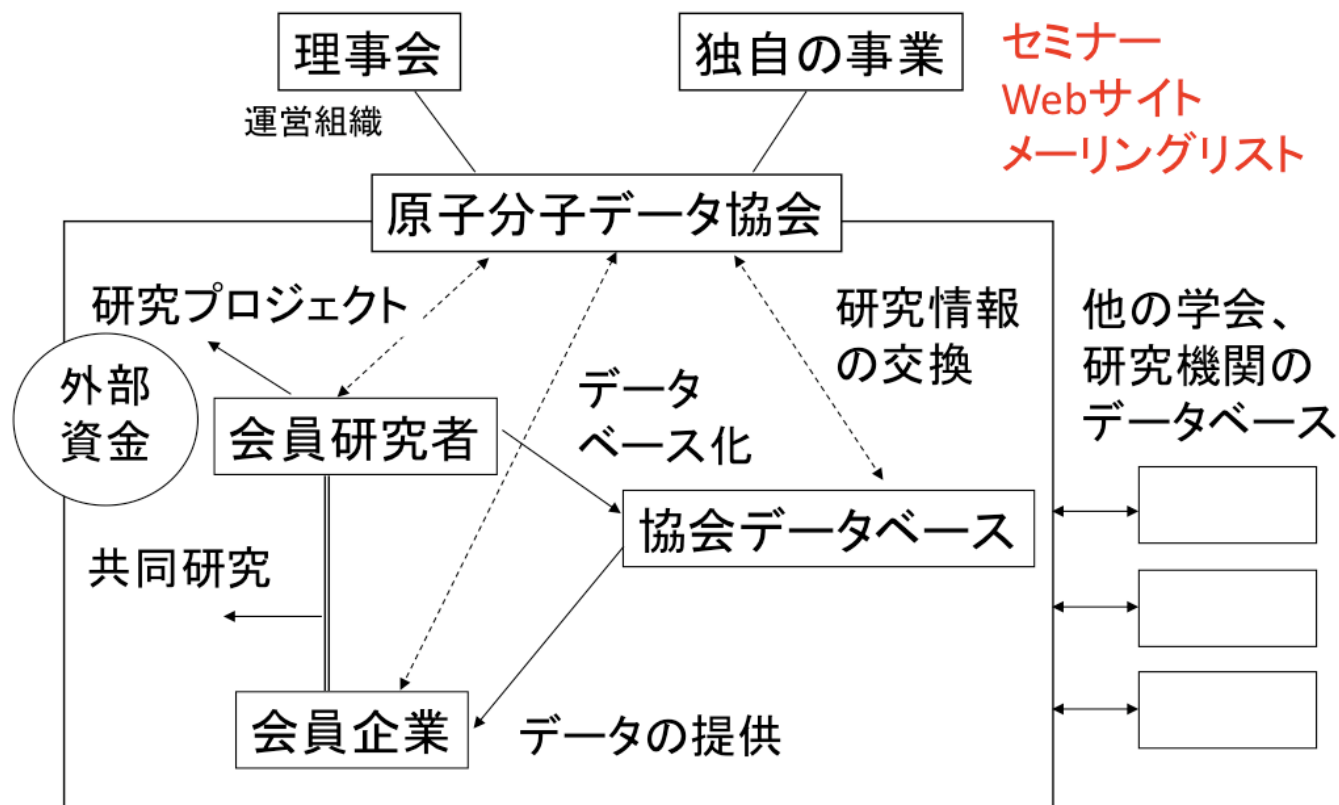


NPO法人「原子分子データ応用 フォーラム」の紹介

佐々木 明

NPO法人「原子分子データ応用フォーラム」設立の趣旨

- (1) 原子分子データを接点とする、データ生産者と収集、利用者のコミュニティの形成
- (2) 基礎科学や産業分野での原子分子データの利用の促進
- (3) 原子分子データベースの運用を支援する体制の構築



NPO法人「原子分子データ応用フォーラム」活動の経緯

2006年8月24-25日

「核融合プラズマからプラズマプロセスまで -プラズマ中の原子過程-」
慶大・真壁教授、九大・季村教授、核融合研・加藤隆子教授

2008年12月17-18日

「原子分子データ応用フォーラムセミナー(原子分子データのニーズとシーズ
のマッチングを目指して)」

2009年11月25日 NPO法人「原子分子データ応用フォーラム」設立総会

2010年2月8日 2009年度原子分子データ応用フォーラムセミナー

2010年4月 NPO法人「原子分子データ応用フォーラム」発足

2011年2月2-4日 「原子分子光の素過程とプラズマ分光の研究フロンティア」と
の合同研究会

O₂(酸素分子)を含む原子分子過程を考慮したプラズマ研究

【12月13日】

13:30 - 13:45 受付

13:45 - 14:15 NPOの紹介・分科会の趣旨説明 佐々木(原子力機構)・池田(アテナシス)

14:15 - 15:00 酸素分子と電子の衝突に関する最近の研究 市川行和(宇宙研)

15:00 - 15:45 酸素分子および酸素分子イオンが関係した衝突素過程 田沼肇(首都大)

15:45 - 16:10 休憩

16:10 - 16:55 不平等磁界下の電子輸送 菅原広剛(北大)

16:55 - 17:15 フリーディスカッション

18:00 - 20:00 懇親会(円茶寮、費用4,000円、核融合研との間の(帰路多治見駅経由)送迎つき)

【12月14日】

9:00 - 9:45 Ar/O₂誘導結合プラズマのシミュレーションとRRK理論に基づいたイオン-分子反応モデルの紹介
伝宝一樹(東京エレクトロン)

09:45 - 10:30 大気圧プラズマのモデリング・酸素ガス添加に伴う容量結合型 RF大気圧ヘリウムプラズマ特性への影響 小田昭紀(千葉工大)

10:30 - 10:45 休憩

10:45 - 11:30 大気圧酸素誘電体バリア放電のシミュレーション 明石治朗(防衛大)

11:30 - 12:15 反応速度を考慮した熱プラズマのモデリング 田中康規(金沢大)

12:15 - 13:15 昼食

13:15 - 13:40 半導体レーザーによる酸素分子の高速高感度吸収分光計測 片山光一(京大)

13:40 - 14:25 核融合研の原子分子データベースについて 村上泉(核融合研)

14:25 - 15:00 総合ディスカッション

「O₂ (酸素分子) を含む原子分子過程を考慮したプラズマ研究」 研究会の趣旨

平成23年度 原子分子データ応用フォーラムセミナーのご案内

file:///Users/sasaki/Documents/projects/原子データ協会/web/seminar23.html

Google

home excite JAEA intra Blogger Facebook Google maps Yahoo! JAPAN お役立ち▼ アップル X線レーザーGr ニュース (342)▼ SpinNet

原子分子データ応用フォーラムセミナー 兼 核融合科学研究所 原子分子データと原子分子過程モデルの活用・普及研究会

「O₂ (酸素分子) を含む原子分子過程を考慮したプラズマ研究」

協賛：[原子衝突研究協会](#)

日時：2011年12月13日 13:30～12月14日 16:00 (予定)

場所：核融合科学研究所 (岐阜県土岐市) 研究1期棟4階 402号室

アクセス：JR中央線多治見駅からバス ([核融合研のホームページへのリンク](#))

プラズマプロセスや光源、大気環境技術において、プラズマシミュレーションの役割は重要とされていますが、そこでは反応種、反応過程を漏れなく取り入れた、完結したモデルを構築することが重要です。しかし、反応過程によってはレート係数の値が不明のものも少なくなく、モデル構築においてはそれらの値を推算によって補う必要があります。

そこで「原子分子データ応用フォーラム」では、「プラズマシミュレーションに用いるレート係数の推算方法の調査」分科会を設け、これから具体的な推算方法の検討からデータの生産までを進めていこうと考えていますが、その準備の一環として、まず大気圧プラズマ (空気) のモデリングを主に考えて、「O₂を含む原子分子過程を考慮したプラズマ研究」のタイトルのセミナーを開催します。O₂プラズマ中で重要な過程、既存のデータベースや推算方法、モデルの検証方法から、この分野に詳しい先生方との人的なネットワークの構築などについて、議論したいと考えています。

現在以下の講演を予定しています。多くの興味をお持ちの方が、ご参加下さり、話題を提供して下さいをお待ちしています。参加希望、講演希望の方は、添付のフォームで、原子分子データ応用フォーラム役員 (村上、佐々木：メールアドレス [staff\(at\)am-data-forum.com](mailto:staff@am-data-forum.com)) にご連絡下さいますようお願いいたします。

NPO法人「原子分子データ応用フォーラム」の活動

原子分子データ応用フォーラム

file:///Users/sasaki/Documents/projects/原子データ協会/web/index.html

home excite JAEA intra Blogger Facebook Google maps Yahoo! JAPAN お役立ち アップル X線レーザーGr

原子分子データ応用フォーラムへようこそ

2011年12月1日更新

[2011年度原子分子データフォーラム「O₂を含む原子分子過程を考慮したプラズマ研究」](#)



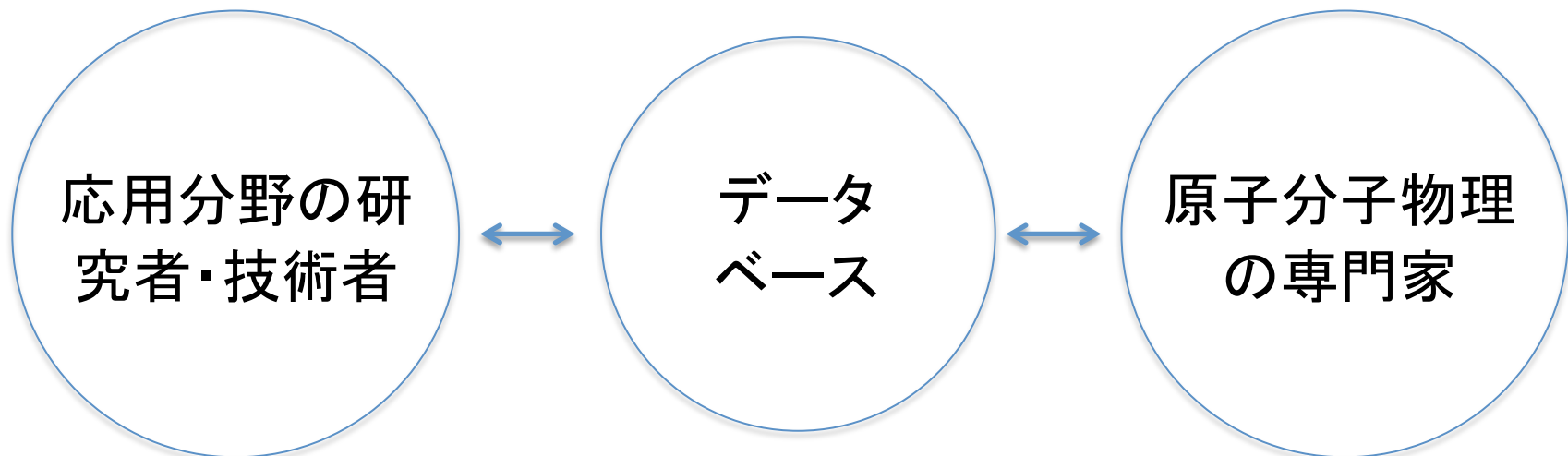
PEGASUS
Software

賛助会員ペガサスソフトウェア
(株)さんへの[リンク](#)

- セミナー
- 会報の発行
- Webサイト
- メールングリスト
(pre-data-forum@googlegroups.com)

ご案内

「原子分子データ応用フォーラム」は、（１）原子分子データを接点とする、データ生産者と収集、利用者のコミュニティを形成し、（２）基礎科学や産業分野での、原子分子データの利用の促進と、（３）高精度の原子分子データベースの運用を支援する体制の構築を行うことを目的として、2010年4月21日、特定非営利活動法人（NPO）として設立されました。原子分子データのシーズとニーズのマッチングのため、セミナーの開催やインターネットコミュニティの運営を行っています。



- ・ 原子分子データの生産者とユーザーのマッチングを図り、応用の研究・開発での成果を目指す。
- ・ 研究者・技術者が協力する体制を作り、資源を獲得し、研究・開発を実施する。

NPO法人「原子分子データ応用フォーラム」に参加するには

- 「原子分子データ応用フォーラム」には、正会員、準会員、賛助会員があります。
- 準会員は、メーリングリストに登録され、「原子分子データ応用フォーラム」からの情報を受け取れるようになります。
- 正会員には、NPO法人の会員として、会の運営に積極的に参加して下さる方のご参加をお待ちしています(年会費 無料、入会金1口 1,000円)。
- 賛助会員として、会の運営をご支援下さる方をお待ちしています(会費1口、個人10,000円、団体30,000円、入会金 10,000円)。

セミナーの事務連絡

- ・ 発表資料を、webサイトにて公開したいので、公表可能な部分を選んだ上、ご提供をお願いいたします。
- ・ 「プラズマ原子分子過程ハンドブック」を、特価4,500円で頒布します。
- ・ セミナー終了後、懇親会を行います。現地へはマイクロバスで送迎を行います(帰路は多治見駅経由)。
- ・ お茶菓子代の「カンパ」を歓迎いたします。
(NPO法人の自立した運営のために)
- ・ 核融合研の宿舎に泊まれる方は、休憩時間中に手続きをお願いいたします。